



～自分で考え 友達と一緒に活動し 振り返りのできる子～

# 学校だより 6月

令和5年6月1日

荒川区立

峡田小学校

校長 津田 利枝

## 「Active student」であれ！「仕事」を「志事に」…

主幹教諭 上間 一蔵

「学校は、君たちのためにあり、君たちが自分たちでつくるものです。」

「だから、学校が君たちのために何をしてくれるのではなく、君たちが学校のために、何ができるかを考えてほしい」「峡田の子は『Active student』であれ！」

これは、4月の委員会発足集会の際、ケネディ大統領のアクティブシチズンの演説の言葉『祖国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが祖国のために何ができるかを考えてほしい』を引用し、5、6年生の子供達に伝えた言葉です。峡田小学校では、5、6年生が委員会活動を行い、放送委員会、給食委員会、集会委員会など、学校全体のために様々な活動をしていきます。これまでは、委員会活動は「先生たちから任された仕事をこなす」というイメージが強い活動でした。クラブ活動と異なり、各委員会の人数や普段行う主な仕事内容を教師が決めて希望調査をし、委員会を決定していました。しかし、今年度より、本校の校内研究であるキャリア教育の視点で委員会活動の在り方を見直し、子供たちの話合いの中で、設立する委員会を決め、人数バランスや活動内容も自分たちで決めるスタイルを導入しました。6年生には、委員会活動を、事に仕える「仕事」をするのではなく、事を志す「志事」と捉えようとなげかけました。その結果、5、6年生の話合いの中で、昨年度まであった委員会を見直し、新しい取組を行う10の委員会が発足されました。また、先日行われた委員会紹介集会では、スライドを用いて委員会の活動内容を発表する姿が見られました。



委員会紹介集会で発表する各委員会の委員長たち

さらに、今年度は代表委員会の活動についても見直しを図り、これまで一部の代表委員会の子供たちで行っていた各行事への取組を、全ての6年生で分担して行う「プロジェクトチーム制」を導入しました。6年生全員にこれまでの代表委員会と同じ役割があり、責任を果たしていきます。運動会、記念集会、展覧会と3つのプロジェクトチームが学校行事を創り上げます。早速、今月行われる「峡田っ子の集い」では、代表委員会の子供たちが工夫をこらした集会を行います。土曜授業での公開ですので皆様ぜひ、ご参観ください。



自らのアイデアで代表委員会の準備を行う計画委員会の子たちと手作りのポスター

今月、6月21日に本校は開校記念日を迎えます。「学校は進化し続ける組織」です。『Active student』となった5、6年生が、どんな学校をこの1年で創っていくのか、どんな「志事」を見せてくれるのか、今から楽しみでなりません。30周年の節目を迎える峡田小学校の子供たちの姿にご期待ください。